

会 議 録

会議の名称	令和元年度第2回川越市立美術館協議会
開催日時	令和2年 2月14日(金) 午後 3時00分 開会 ・午後 4時30分 閉会
開催場所	川越市立美術館会議室
議長(委員長・会長)氏名	会 長 宮 澤 光 造
出席者(委員)氏名 (人数)	委 員 長 江 艶 子 委 員 神 山 正 久 委 員 桑 原 浩 委 員 古 川 久 子 委 員 三 角 久 美 (5名)
欠席者(委員)氏名	副会長 梅 津 元 委 員 井 口 修 一 委 員 山 田 誠 次
事務局職員職氏名	館 長 岡 部 秀 子 副 館 長 山 田 明 子 副 主 幹 折 井 貴 恵 指 導 主 事 高 橋 由 紀 子
会議次第	1 開会 2 委員紹介 3 議題 (1) 令和元年度事業報告について (2) 令和2年度事業計画について (3) その他 4 閉会
配布資料	・ 次第 ・ 川越市立美術館協議会委員名簿 ・ 資料1 川越市立美術館データ表 ・ 資料2 川越市立美術館特別展記録 ・ 資料3 特別展に関する事業報告(春季・夏季・秋季特別展)

- | | |
|--|---|
| | <ul style="list-style-type: none">・資料 4 令和元年度 教育普及事業報告・資料 5 令和 2 年度 特別展展示予定・資料 6 令和 2 年度 教育普及事業実施計画 |
|--|---|

議 事 の 経 過	
発 言 者	議題・発言内容・決定事項
事務局 (館長)	1 開会
会長	<p>【会長あいさつ】 「あいちトリエンナーレ」では、みせる立場である美術館の、社会に対して発信する責任について考えさせられた。今後、この川越市立美術館が少しでも良い方向へ進むよう、本日はご意見を頂戴したい。</p>
事務局 (館長)	2 委員紹介 今年度から着任された委員を紹介します。
委員	<p>【自己紹介】 川越女子高等学校の前任校は県立芸術総合高校、勉強もそして芸術も「インプット」と「アウトプット」が重要であると考えている。よろしくお願いします。</p>
会長	3 議題 それでは、議題(1)令和元年度事業報告について、事務局から説明をお願いします。
事務局 (副館長)	(資料1に基づき説明)
事務局 (副主幹)	(資料2、資料3に基づき説明)
委員	<p>秋展について。アンケート結果では満足度が高かったとのこと、自分も同感である。また、市内にある田中毅作品のマップ化がされていたのはよかった。これを利用して、美術館主催で親子参加型などのオリエンテーリングのようなことをできればよいのでは。アンケートの感想（田中さんの作品をもっとみたい）、要望（冬休みまで開催していれば親子で来られた）を生かし、特別展開催にこだわらず、地元作家である田中さんの作品を生かしていけるとよいのではないか。</p>

委員	<p>秋展について。昨年秋は台風の影響が大きく、川越全体に客が来ていなかった時期。報告では観覧者が少なかった、とあるが、自然災害があったことの一文を加えておくべき。今は美術感覚が育たない、美術作品も売れない時代。だからこそ、地元作家を育てる、応援するという意味からも。この報告しか残らないのでは、「なぜ観覧者が少なかったのか」わからなくなってしまう。</p>
会長	<p>自分も彫刻展は一般に馴染みが薄いのではないかと感じている。そのなかでは、田中氏はコアなファンのいる作家である。</p>
会長	<p>資料1で質問だが、備考の「外国人平均」とは何を指すのか。</p>
事務局 (副館長)	<p>外国人来館者の一日平均来館者数を表しています。外国人かどうかは、受付が判断しています。</p>
委員	<p>ポスターについて。ポスターには①インパクト、②共感の2つがあると反応がよい。加えて、キャッチコピーが有効だと思うが。</p>
事務局 (副主幹)	<p>デザインの重要性について認識はしているが、予算がつきにくい現状。キャッチコピーはこれまでつけてこなかった。</p>
委員	<p>市の広報誌への掲載もよくがんばっているように感じた。アンケート結果でも、市広報から知った人が多かったようだ。</p>
委員	<p>こどもたちも多く来館していることがわかった。参加型の催事も良いが、そうでない鑑賞型も必要。メリハリをつけてやってみてはいかがか。市民ギャラリーに出品したこどもの作品を見に、親子で来館することも多いと思うが、その時に合わせて催事をやれば、親子で興味が沸くのでは。また、美術館主催で市外の美術館めぐり、バスツアーなどもやってほしい。個人で行くこともできるが、ツアーだと輪ができる。その輪を広げていけたら。</p>

委員	2期4年間委員を務め、美術館に来る機会が増えたこともあり、美術館の仕事をよく知ることができた。また、自分が工芸に携わっていることから、春展は勉強になった。東京まで行かなくても鑑賞できたのはよかった。
会長	引き続き、資料4について説明願います。
事務局 (指導主事)	(資料4に基づき説明)
委員	幼保を対象としたこども鑑賞会について。6年生はバス見学があるからいいが、徒歩圏内の近隣小学校の低学年などへも働きかけをしてはいかがか。せっかくの機会なので対象を拡げてみては。
事務局 (指導主事)	特別支援学校・学級展の開催期間中に来館したクラスに、会場見学にあわせ造形遊びをしていってもらった例、また、わくわくフェスタの開催時に、川越小学校4年生全員が自分の作品を持参、展示する機会があったので、作品持ち帰りの時に合わせ、特別展の鑑賞をしていってもらった例はあります。
会長	それでは、議題(2) 令和2度事業計画について事務局から説明をお願いします。
事務局 (副主幹)	(資料5に基づき説明)
事務局 (指導主事)	(資料6に基づき説明)
委員	夏展、花村えい子さんは川越女子高出身。以前、花村さんは女子高に講演にきてくださったことがある。4月に同窓会があり、800人集まる予定。そこでPR協力できる。
会長	最後に、議題(3) その他について事務局からお願いします。
事務局 (副館長)	前回会議の際に言及した、使用料等見直しについて報告します。美術館としては、常設展観覧料、市民ギャラリー

使用料、創作室使用料について、検証の結果、値上げをしないという結論を出しました。なお、特別展観覧料については、来年度は600円といたしました。

4 閉会